

美 楽 舎

会報 第254号 (平成24年12月発行)

東京都中央区京橋 3-9-2 プラザ京橋ビル K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004 メール kgallery@eagle.ocn.ne.jp

ホームページ <http://bigakusya.com/>

第278回 (11月) 例会

新倉準一 氏 ・ 篠田正治 氏 講演
「画商専門三十余年を振り返りて」

2012年11月18日(日)

参加者：泉、北林、澤登、丹、浪川、増田、片岡

場所：K's Gallery

< 報告：片岡靖雄 (幹事) >

11月例会は老舗デパート三越で 30 余年を美術一筋に歩いてこられた篠田正治氏・新倉準一氏のコンビで講演にお願いしました。最初に、現在、川越市いも膳ギャラリー呼友館の篠田正治館長の話でスタートした。新倉・篠田さんとは20年来の友人であり、出来るだけ本音の話をお願いしました。

(講演 特記)

●例会のタイトル中では『画商』との言葉使いに抵抗を覚えました。俺たちは画商ではないとの訂正発言がありました。

●お客との関係は常に信頼関係で成り立ち、窓口担当者が転勤すると顧客も離れるケースがある。又作家との関係では作家の作品の力で仕事をさせて貰っていると常に思っている。若い作家を育てるとの思いはありえないことで、場を提供することが主な仕事である。何故なら作家は常に命がけで作品を描いており、見るもの心を打つ作品のみが売れるのだと確信してます。よく百貨店は売れるものなら何でも売るとわれがちですが、長い信頼関係を続ける為は、時として『その絵の購入は辞めれば』とアドバイスすることもあります。

●最近はおークションの影響か、百貨店の位置づけも変化し、面白いが

